



前進

第6号

7月6日発行

文責：濱田

育てたい力：共感力・探究力・協働力

◎吉尾小の子どもたちと共に学びました。

6月25日（金）は吉尾小学校の4人の子どもたちと交流学习を実施しました。本校の先生方には「1年後の姿を見据えて交流の準備をしてほしい」と前もって話しました。

吉尾小の子どもたちを温かく迎えるために寄せ書きを入口に掲示したり、名前を記入したプレートを机に準備したり、関係あるクラスはそれぞれ創意工夫しながら交流を行っていました。

授業は5時間目に行い、道徳や図工などあらかじめ吉尾小の先生方と打合せした内容を実施しました。初めての大人数での授業で、4人の子どもたちはさぞ緊張したことでしょう。それでも、手を挙げて皆の前で堂々と発表する姿も見られ、頼もしさを感じました。下校する際に吉尾小の子どもたちに感想を聞

いたところ、「最初は緊張したけど、楽しかったです。」「〇〇ちゃんと仲良くなれました。」などの声を聞くことができ、安心しました。次回の交流授業は7月12日（月）を予定しています。交流を楽しみにしてもらえるように今後も努めていきたいと思

◎大きなサツマイモができるといいなあ。

6月25日（金）の3・4校時に、1・2・3年生はサツマイモの苗植えを実施しました。学校の栽培園も昨年大きな被害を受けましたが、社会奉仕団体の熊本キワニスクラブ様から贈呈いただいたミニ耕運機で耕し、やっと作物がつくれそうな状態まで戻ってきました。今回はJAあしきた様から応援をいただき、大きな畝をつくと



ともに、サツマイモの苗の手配、そして植え方の指導まで関わって下さいました。子どもたちはマルチの穴から苗を植えるのにけっこう手間取り、作業後に大人の確認が必要でした。

植えてからしばらくは、朝から子どもたちがじょうろやペットボトルに水を汲んできて、苗に水をかける姿が見られ、成長を楽しみにしている様子が伝わってきました。現在は多くの苗が根付いたようで、秋の収穫が楽しみです。

◎租税教室を行いました。

6年生対象に、租税教室を実施しました。租税教室とは、税の役割を理解し、税を身近に感じながら社会への関心を高めることを目的として、税務署の方に説明等を行っていただく取組です。



当日は八代税務署の2名の職員が来校され、DVD視聴やクイズなどで税についての説明をされました。子どもたちはしっかりと話を聞いたりメモをしたりしていました。納税は国民の義務です。係活動や委員会活動、そしてクラスの一員としての活動等を通して、自分の責任・責務をしっかりと果たそうとする子どもたちの態度を日々育てていきたいと思えます。

ところで、一人の児童が「税金はこれからも上がるのですか。」と質問をしました。税務署の方は次のように答えられました。「将来、皆さんが選挙に行くときに、税を上げるかどうかを含めて、自分が考える税の使われ方と考えが一致する方に投票することが大切ですね。」社会科で自分たちの生活と政治について学んでいる6年生にとって、たいへん分かりやすい言葉でした。

【校長室から】令和2年7月4日から1年がたちました。佐敷小では、7月2日（金）の業間に、豪雨災害でお亡くなりになった方への哀悼の意を込めて全校一斉に黙とうを行いました。その際、子どもたちには次のような話をしました。

- ①豪雨災害以来、臨時休校、田浦小・田浦中での学校生活、仮校舎と本校舎に分かれての生活など、不自由だったにもかかわらず、みんなで頑張ってきた。
- ②様々な方の支援や協力によって、2学期から本校舎で一緒に生活できる予定である。
- ③忘れられない大変な1年だったと思うが、きついことをのり越えた分だけ、みなさんはたくましく成長してきた。これからもみんなで力を合わせて、前を向いてよりよい佐敷小をつくっていこう。

本年度の一つ目のミッション「被災からの復興（教育施設の回復＋安心・安全な学校）」の達成に向けて、今後とも職員一同、子どもたちと頑張っていきます。